

※会員の皆様へ 委員会募集について、2024年2月末に締め切らせていただきましたが、下記の5委員会について、追加募集をさせていただくことになりました。申込締切りは4月7日（日）となります。皆様のご応募をお待ちしております。（現在所属されている委員の方も今年度末で一旦退任となります。来期も継続希望をされる方は、本申込が必要となりますのでご注意ください。）

追加募集対象 常任委員会一覧

委員会名	定数目安人数	委員会活動の目的 (ミッション)	活動内容	参加を検討いただいている方へ
①基礎研修委員会	20名	会員が倫理綱領に基づいた相談援助活動が行えるよう、ソーシャルワークの基盤に基づいた体系的研修の仕組みである基礎研修を通じ、必要な知識、技術の専門性と倫理性を常に向上させるための生涯研修制度を支え自己研鑽をサポートします。	【定例委員会】 研修に向けた委員会は原則毎月開催(第1月曜 19:00～20:00ZOOM)。 【事業活動例】 基礎研修Ⅰ～Ⅲの運営(ZOOM) (基礎研修Ⅰ9月・12月 午前基礎研修Ⅱ 午後基礎研修Ⅲ(5月から翌年2月までの第3日曜に実施。)) 基礎研修Ⅰ2回(午前)/基礎研修Ⅱ9回(午前)・Ⅲ10回(午後) 基礎研修事前課題や修了レポートの確認	基礎研修Ⅰ～Ⅲ修了者 基礎研修講師養成研修修了者 認定社会福祉士 の皆様に参加いただき生涯研修の重要性や基礎研修修了後の先輩として共に学びあうことやファシリテーションを通じて、スキルの向上が図れます。基礎研修演習(講師・ファシリテーター)には規程に基づき謝金が支給されます。
④高齢者・障がい者虐待防止委員会	25名	「三重県高齢者・障がい者虐待防止専門職チーム※」への参加を中心に、虐待予防や再発防止、権利擁護に関する活動を積み重ねることで専門性を高め、会内部はもとより、会外部の各種関係機関や地域社会に対し、社会福祉士(会)としての存在感や存在価値を高めていきます。 ※三重県高齢者・障がい者虐待防止専門職チーム(以降、虐待防止専門職チーム)とは、三重弁護士会と三重県社会福祉士会から構成された任意団体です。主な活動内容は、市町が行う虐待対応へのアドバイザー派遣や助言、市町職員への研修講師などです。現在は委員全員が虐待防止専門職チームメンバーを兼ねています。	【定例委員会】 その都度、全ての委員の都合を確認し日程調整を行います。曜日、時間帯・開催サイクルは不定です。 【事業活動例】 ①虐待防止専門職チームへの参加※。 ②虐待防止、権利擁護に関する会員・委員向けスキルアップ研修会の開催。 ③県内事業所の虐待防止に関する第三者委員として活動する会員への支援。 ④委員会の活動内容や研修体系等について会員向け説明会の開催。 ⑤虐待防止専門職チームでアドバイザーとして活動するために、日本社会福祉士会主催のアドバイザー養成研修への参加。 ※虐待防止専門職チームとしての会議が定例委員会とは別に、土曜午前を中心に年間4、5回程度開催されています。	委員会としての活動の他に、虐待防止専門職チームとしての活動もあり大変に思えるかもしれませんが、スキルを身につけるための研修がありますし、現任委員が丁寧に伴走していきます。興味・関心のある方であればどなたでもご参加いただけます。一人でも多くのみなさまのご参加をお待ちしています。迷っている方、大歓迎です。どうぞお気軽にご参加ください。
⑥子ども家庭委員会	20名	子どもとその家庭を取り巻く様々な社会的問題に着目し、会内部に対してだけではなく、会外部の各関係機関や地域社会に対して継続的に研修会や調査などを行い発信していくことで、児童分野における社会福祉士(会)の専門性、存在感を高めていきます。また、それらの活動を通して、子どもの権利擁護、現代の家庭の抱える問題等を解決していくことを目指します。	【定例委員会】 原則、毎月土曜にハイブリッド(アスト津/Zoom)で開催します。日時は都度委員で調整して決定します。 【事業活動例】 ①児童家庭福祉全般に関する課題についての啓発活動や研修会の開催(11月の児童虐待防止月間にあわせて開催) ②ヤングケアラーに関する普及・啓発 ③県、市町教育委員会との協働によるスクールソーシャルワーク研修会(年1回)	児童家庭分野で働く社会福祉士は、全体の約5%とされています。身近に仲間が見つかりにくいマイノリティな分野だからこそ、県単位で集まって活動することの意義があると思います。職種や領域を問わず「子どものこと」に興味関心がある方であればどなたでもご参加いただけます。
⑧独立(自立)型社会福祉士支援委員会	15名	「すでに独立(自立)型社会福祉士として活動している会員への支援」と「独立(自立)型社会福祉士を目指していきたい会員への支援」を委員会活動の両輪とします。また、独立(自立)型社会福祉士のスキルアップのための取組、必要とされるサポート体制や横のつながりを作ること、などの活動を通して、組織に捉われず、ソーシャルワーク実践を目指していきます。	【定例委員会】 原則、2か月毎に開催します。開催日は平日夜を中心に、委員の都合を聞いて日程調整していきます。 【事業活動例】 ①すでに独立(自立)型社会福祉士として活動する方のスキルアップにむけた事例発表会や研修会の開催。 ②独立(自立)型社会福祉士を目指す方にむけた創業セミナーや相談会などの開催。	「自分がなりたいと思う社会福祉士」「自分が取り組みたい実践活動」を実現するためのモチベーションアップの場となることを目指しています。独立(自立)している方、これからの活動、関心がある方、仲間づくりのためにも、是非ともご参加ください。
⑨生活・地域支援委員会	15名	ポストコロナ社会を迎え、生活様式や価値観なども変化し、どの福祉分野においても、複合的な問題や課題が新たに現れています。このため支援者側には、今後ますます分野を横断した情報の共有、相互協力が求められるところです。 この委員会では地域共生社会を念頭に、「対人援助・相談」、「地域活動」、「政策提言や社会活動」について考えることで、会員同士で個々の資質向上を目指します。	【定例委員会】 2か月ごとに第3水(午後20時00分～)を中心に開催します。概ね1時間半程度です。開催形態も都度検討します。 【事業活動例】 ①年間3回程度、会員向け研修会を開催。	暮らしの中で福祉課題は複雑化し、相談者は属性を問わず拡がりを見せています。このため、さまざまな福祉分野で活躍されている会員の皆様の見聞だけに留まらず、外部の専門家や団体等とも意見を交えながら、個々の支援の裾野を広げていきます。 少しでも興味・関心のある方は、是非、委員会で一緒に活動しましょう。